



平成 26 年度「篠ノ井西中学校 学校通信」

発行日 平成 27 年 2 月 17 日

第 44 号 (171 号) 校内版

長野市立篠ノ井西中学校

電話 (026) 292-0244

FAX (026) 292-7880

担当：教頭 中山



布施だより

《 書いて伝える ～各学年の「学年通信」から～ 》

毎週末、各学年の担当の先生方より「学年通信〈1 学年は『ららら』、2 学年は『つばな』、3 学年は『そよかぜ』〉」が発行されています。生徒たちの追究や活動から感じたことを、その週の担当の先生が記述しています。生徒の良き表情を伝えようと写真に収め、時には、伝えるピッタリの表現が見つからず職員室で苦吟されている時もあります。わずか 1 枚の通信ですが、その担当の先生の人柄と工夫が満載の発行なのです。そこで、先週号からの各学年通信紹介です……。

1 学年通信

ららら

発行：田村先生

～ 盛り上がった「百人一首大会」 ～

2 月 10 日の総合の時間に班対抗で「百人一首大会」を行いました。3 学期に入り国語の授業で百人一首を扱い、札取りのルールも覚えながら取り組んできました。見たことのない「てふ」や「ぬ」の表記、昔の言葉にとまどいつつも、楽しみながら覚えてきた百人一首。意外に恋の歌が多いのに驚いていた人もいましたね。大会では順位もでるということだったので、島田先生の読みに集中し真剣に聞いて、良い雰囲気の大大会になりました。

また、来年度入学する信里小学校 6 年生の児童達も一緒に参加しました。最初は緊張していた児童達も少しずつ顔がほぐれて札を取ったりしていました。1 年生にとっても来年の自分の先輩になる姿を想像する場になったようです。

中学生時代に覚えたものは一生忘れないものが多いです。ちょっと早いけれど修学旅行でも役立つかもしれません。今後もじっくり味わえるといいですね。



順位
一位二組
二位五組
三位六組

生活ノートより

○六時間目、百人一首大会がありました。私たちの班はヤバかったです。20対10と負けていました。でも私の知っているのが、いくつかあってそれを取ったり、バシバシと取ったりしていくと0対2で勝ちました。

○今日は百人一首大会！昨日はテスト勉強より百人一首を優先して覚えました。クラスのみんなとの最後の行事かもしれないので、すごく楽しみにしていました。いろいろな友達から「がんばろうねー。」と声をかけられ、やる気も出ました。

○美術では木彫に入りました。四角い木をカッターで削って「TAMAGO」にするというやつです。その木はすごく軽くて柔らかかったです。削るのはまだ慣れないけれど、私らしい「TAMAGO」にしたいです。

2学年通信

つばな

発行：袖山先生



今日…2年生最後のテストが終わりました！



昨日と今日は、今年度最後のテストでした。今回のテストでは、朝や放課後、給食後の時間など、自分のすき間時間を使って勉強に取り組む姿がたくさん見られました。中にはテスト当日の朝も、早くから学校で勉強する人も……。立春が過ぎたとはいえまだまだ寒い日が続く、体調が万全ではない人も多かったことと思いますが、それでもベストをつくそうと頑張る姿は、3年生への「ゼロ学期」として頼もしさを感じました。

<修学旅行の班別見学コース決定！>



今の自分たちは、まだまだ2年生。修学旅行は3年生の行事。それは確かに間違いでは無いのですが、カレンダーを見れば2ヶ月後には奈良・京都を旅しています。長野県出身である保護者の皆さんにとっては、生徒たちと同じように思い出の地である奈良・京都。あの街を、あの若かりし頃の皆さんと同じ思いで、今回生徒たちが訪ねます。



保護者の皆さんが訪れてからン？十年、いやン？年、長野の街並みがすっかり変わったように、歴史の街も一変しているんだろうなと思われるかもしれませんが、あの頃に見たお寺や庭は、今も昔も全く変わらぬ姿で、時間が止まってしまったかのように、そこにそのまま存在しています。龍安寺の石庭も清水の舞台も、参道のごみごみしたおみやげ屋も、今も当時のままそこにたたずんで



いるのです。千年を超える歴史の中では、親子の年の差など、昨日と今日の差ほどもありません。そんな異次元の感覚を味わえるのも奈良・京都への旅だと思います。ご家庭でも話題としていただき、思い出深い修学旅行となるようご協力をお願いいたします。



なお今回の参観日では、修学旅行の持ち物や注意事項など、係から全体計画をお知らせする予定ですので、万障お繰り合わせの上、ご参会くださいますようお願い申し上げます。

～ 3学年通信 **そよかせ** 担当：滝澤先生、太子先生

～清掃できる人は信頼できる人～

ある中学校で、清掃に力を入れていた先生の言葉です。「ああそうだな」と納得したのを覚えています。確かに、膝をついて雑巾がけができる人は、信頼に値します。

今3学年は、卒業に向けて「黙想」「無言移動」「無言清掃」に力を入れています。卒業まで全員が実施するのが目標です。1分間じっと動かずにいること、目的地へ移動するまで口を閉じていること、時間が終わるまで無言でやること。日頃の生活がしっかりできている人は、ここぞというときにも平常心で臨めると思います。



木曜日に、たまたま黙想の時間に遅刻して登校してきた1年生がいました。その生徒は3年の廊下の前にさしかかった途端、誰も動かない黙想の姿に一步下がり、移動の放送があるまでその場でたたずんでいました。言葉で教えるのではなくても、先輩の姿から感じたのでしょうか。まず自分、クラス、そして学年全体で実施していきましょう。

～公立高校前期選抜が行われました～

10日(火)に、公立高等学校前期選抜試験が行われました。朝から雪が降り、道路状況や公共の交通機関の遅れなどが心配されましたが、大きな事故やトラブルもなく無事に受検することができました。

結果発表は今週の18日(水)です。その間は結果を気にしながら生活することになります。中には受検を終えて気が抜けたのか、ダラダラ過ごしているような人もいます。とたんに提出物を出さなくなったり、授業で寝てしまったり……。合格したつもりになって勉強に身が入らないようでは困ります。たとえ合格したとしても、まだまだ決まっていない仲間も大勢いますし、ここで勉強をやめてしまうと、高校に入ってから、後期受検までがんばった仲間に遅れをとってしまいます。最後まで気を引き締め、仲間のことを思いやりながら残りの学校生活を過ごしてほしいと思います。



～ ～ ～ ～ ～

3学年通信「そよかぜ」にもありましたが、10・12日(火・木)に公立高等学校前期選抜が各高等学校で行われました。面接に臨んだ生徒たちは面接試験を終えて手をニコニコと振ってくれながら、学校に戻ってきます。

帰宅した生徒は、学校へ電話報告を入れてくれます。「大変でしたあ～」と声を弾ませる生徒、「自分としては精一杯力を出しました！」と自信を覗かせる生徒、「一生懸命答えようとしたんですけど、噛んでしまって～」と苦笑いする生徒……。緊張感から解放された喜びが受話器の向こうからビシビシ伝わってきます。

年明けの1月から面接に向かう心構えを学び、実際に面接練習に先生方を面接官に見立てて臨んできた生徒諸君。お辞儀は1秒頭の動きを止めて……。話すときは相手の鼻がしらを見て……。カーディガンの袖は見せないで……。進学の志願理由をもっと明確に……。文章を覚えて話すんじゃなくて、会話のやりとりを楽しむつもりで……。等々。

そんな経験を一緒に過ごしてきた仲間ですから、帰宅報告を受ける3学年の先生方もうれしくなって微笑んでしまいます。「ご苦労様、休み明け、待っているからね。」と返すと、異口同音に「ありがとうございましたっ！」の返答。

試練に挑戦したことで、心配りであるとか、周囲への感謝であるとか、またひとつ育った瞬間でした。

3月11日まで「チーム篠西」の総力を結集した挑戦が続きます。

